



3階の窓に何がかくされたのか、

奇跡か、罪悪か、

知っているのは、アグネスだけ。

真実にせまれるのは、リビングストン博士だけ。

アグネス

Agnes of God

コロムビア映画配給

ノーマン・ジュイソン・フィルム

ジェーン・フォンダ

アンババンクロフト/メグ・ティラー "AGNES OF GOD"

音楽: ジョルジュ・ドルリュウ/デヴィッド・ケン・アダム

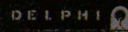
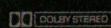
脚本・原作作曲: ジョン・バイエルマイヤー

撮影: スペン・ニコヒスト, A.S.C./デヴィッド・チャールズ・ミルバウト

製作: バトリック・ハーマー & ノーマン・ジュイソン

監督: ノーマン・ジュイソン

原作: 奥川文庫刊「オリジナル・サントラ」集 ヒタタチ・レコード



■舞台、そして映画も全米大ヒット!

N.Y.ブロードウェイで超ロングランを続ける白熱のドラマ、堂々の映画化。

●男子禁制の修道院で、若く美しい尼僧が出産した。しかも、その赤ん坊は絞殺死体で発見された! ショッキングな冒頭シーンから、この映画は、観る者の心をつかんで離さない。

尼僧の名はアグネス。あどけなく清らかな表情で、彼女は出産も妊娠も覚えがないという。裁判所から、女医のマーサがアグネスの精神鑑定のために派遣される。現実主義者マーサの前に立ちはだかるのは、宗教と信仰という神秘の世界だ。

修道院長は、アグネスの無実を主張し、神の奇跡によって彼女が身ごもった可能性まで匂わせる。そんなバカな!とまっこうから否定するマーサ。やがて、信仰と理性との対立のまっただ中で、驚くべき真実が明らかにされる。

●ブロードウェイでトニー賞を獲得したジョン・パielマイヤーのヒット戯曲の映画化だ。オリジナルの戯曲は、7カ国に翻訳され、14カ国で上演。映画も85年9月13日全米公開され、満員札止めの大ヒットを記録。現在なおロングラン中である。

●この戯曲の舞台をカナダに移しかえたのは、「屋根の上のバイオリン弾き」「ジーザス・クライスト・スーパースター」のアカデミー受賞監督ノーマン・ジュイソン。冬のカナダの優美な景観をバックに、白熱した愛のドラマを見事作り上げた。

■キャスト

ジェーン・フォンダ
アン・バンクロフト/メグ・ティリー
アン・ビトニク/ウィンストン・レカート
グラティエン・ジェリナス/ガイ・ホフマン
ガブリエル・アーカンド
■スタッフ
監督:ノーマン・ジュイソン
製作:パトリック・バーマー&ノーマン・ジュイソン
脚本・原作戯曲:ジョン・パielマイヤー
撮影:スベン・ニクビスト
プロダクション・デザイナー:ケン・アダム
編集:アントニー・ギブス
ニューヨーク・ステージ・プロデューサー:
ケネス・ウェイスマン/ルー・クレイマー
バラマウント・シアター・プロ
衣裳デザイナー:レネー・エイブル
音楽:ジョルジュ・ドルリュ
美術監督:キャロル・スバイヤー
特殊効果:ロン・シーセン



1985年度カラー作品
配給:コロムビア映画

■'86アカデミー賞を狙う大女優の激突——。火花散らす熱演に、心からの拍手を。

●タイトル・ロールのアグネスを演じるのは「サイコ2」「再会の時」でクローズアップされたフレッシュ・スター、メグ・ティリー。往年のオードリー・ヘップバーンを思わせる可憐さが、観る者の心をひきつける。

そして、精神科の女医マーサに、「黄昏」以来4年ぶりに映画出演するジェーン・フォンダ。修道院

長として円熟の演技を見せるのが「愛と喝采の日々」のアン・バンクロフト。ともに、オスカー女優として、アメリカ映画を代表する大スターだ。

清純、知性、人間味を代表するこの三女優が、対等の立場で激突し、火花を散らす熱演ぶりは、手に汗にぎる迫力で画面を圧倒する。

アグネス

AGNES OF GOD

カナダ、モントリオール、ある冬の寒い夜。

男子禁制の修道院で発見された赤ん坊の惨殺死体。

容疑者の美しい尼僧は、出産も妊娠もまったく

記憶になかった…………。

近日ロードショー!

特別鑑賞券好評発売中!

一般¥1,200(当日 ¥1,500の処)

学生¥1,100

(当日 大高生¥1,300・中学生¥1,200の処)

伊勢丹前・シネタウン

新宿ビレッジ2 (351)
3129